

Tenik

KeySQL R8.0リリース・ノート

2012年 7 月

| | |
|-----------------------------------|---|
| 動作環境..... | 3 |
| インストール・アンインストールに関して..... | 4 |
| インストール..... | 4 |
| ライセンスキーの登録..... | 4 |
| アンインストール..... | 5 |
| KeySQL R7.0 からの変更点および互換性について..... | 6 |
| 新機能と変更点..... | 6 |
| 互換性..... | 7 |
| その他注意点..... | 8 |

動作環境

ソフトウェア

オペレーティングシステム :

Windows XP Professional、Windows Server 2003、Windows Server 2003 R2、
Windows Vista Business/Enterprise/Ultimate、Windows Server 2008、Windows 7、
Windows Server 2008 R2

実行環境 :

KeySQL R8.0のインストールおよび実行には .NET Framework 4 Full 以上が必要です。
.NET Framework はマイクロソフトのダウンロードサイトから入手するか、Windows
Update (Microsoft Update) を使用してインストールしてください。

ダウンロードサイト : <http://www.microsoft.com/downloads/ja-jp/details.aspx?displaylang=ja&FamilyID=9cfb2d51-5ff4-4491-b0e5-b386f32c0992>

.NET Framework 4 は、以前のバージョンの Framework と共存できません。

データベース :

- Microsoft SQL Server (ODBC)
- Oracle Database (ODP.NET)
- 汎用 ODBC

Oracleへの接続には .NET Framework 4 以上に対応した ODP.NET (ODAC 11.2 以上) が必要です。その他のデータベースにアクセスする場合には、各種データベース用のクライアントソフトやODBCドライバが必要となります。これらはご利用のOSに依存しますので、対応製品の詳細については各 RDBMS 製品のシステム要件をご確認ください。

アプリケーション :

- Microsoft Excel
Excel 2003、Excel 2007、Excel 2010
- OpenOffice.org 3.x Calc
- CSV ファイル
- XML ファイル

ハードウェア

メモリ :

オペレーティングシステムやアプリケーション等で使用するメモリとは別に、
KeySQL用に64MB以上の空きメモリ容量が必要 (必要な空きメモリ容量は
扱うデータ量に応じて異なります)

ディスク :

20MB以上の空きハードディスク容量
(使用されるハードディスク容量は設定に応じて異なります)

インストール・アンインストールに関して

インストール・アンインストールには Windows の Administrator 権限が必要です。

インストール時のユーザー用か、すべてのユーザー用にインストールするかを選択できます。

インストール

KeySQL R8.0では、32bit/64bitのインストールモジュールがあります。
環境に合わせて適切なモジュールを使ってインストールしてください。

| モジュール | 32bit OS | 64bit OS |
|----------------|---|---|
| KeySQL (32bit) | ネイティブ環境として動作しません。 | WOW64 環境での動作となります。ただし、データベースクライアント (ODP.NET や ODBC ドライバ) は 64bit 用が必要となります。 |
| KeySQL (64bit) | 32bit OS に 64bit 用モジュールを使用したインストールはできません。 | ネイティブ環境として動作しません。 |

インストーラーファイルをダブルクリックすると、インストールが実行されます。
インストール自体はインストーラーの指示に従って行ってください。

インストール時の注意

接続先データベースとして Oracle をご利用の場合、製品のインストール順序にご注意ください。

各製品は以下の順でインストールする必要があります。

1. .NET Framework 4
2. ODAC (ODP.NET 4)
3. KeySQL 8

もし 1. と 2. が逆になってしまった場合は、以下の順序でインストールしてください。

1. ODAC (ODP.NET 4) のアンインストール
2. .NET Framework 4 のインストール
3. ODAC (ODP.NET 4) の再インストール
4. KeySQL 8 のインストール

ライセンスキーの登録

インストール後、KeySQL を起動して「ヘルプ」メニューの「バージョン情報」から「ライセンスキーの登録」ボタンを押してライセンスキーの登録をしていただけます。

詳細は KeySQL ヘルプの「画面説明」→「バージョン情報画面」を参照してください。



アンインストール

コントロールパネルの「プログラムのアンインストール」、「プログラムと機能」もしくは、「アプリケーションの追加と削除」から KeySQL を選択し、削除してください。

KeySQL R7.0 からの変更点および互換性について

新機能と変更点

- 1) KeySQL の自動化
VBScript などのスクリプトに対応し、従来の「KeySQL マクロ」よりも柔軟な処理が可能になりました。
- 2) Unicode 対応
Unicode をサポート。CSV/XML 出力時には、各種文字コードでの出力に対応します。
- 3) ワークスペース情報の保存機能
ログイン情報も含めたワークスペース情報をファイルに保存します。
ファイルをダブルクリックして KeySQL を起動することもできます。
- 4) 更新系 SQL の組み立て処理
従来の KeySQL と違い、一度検索をしなくても更新・削除可能です。
検索データをメモリに保持しないため、余計なメモリを使用しません。
- 5) 取得するテーブル情報のフィルター機能
従来の「テーブルグループ」「オーナーグループ」よりも柔軟に
テーブル・ビュー・シノニムを絞り込むことができます。
- 6) より標準 SQL に適した仕様に
画面構成をはじめ、標準 SQL に適した仕様に変更されています。
- 7) 入力補助機能
テーブル名や関数名の入力を補助する機能が追加されました。
- 8) アプリケーション別の設定画面
貼り付け方法などの設定を、貼り付け先アプリケーション別に
GUI で変更可能になりました。
- 9) 同一マシンに複数のライセンスを登録可能
同一マシン上に検索版と検索 / 更新版を同居できます。
- 10) ネイティブ 64bit に対応

マクロの互換性について

KeySQL 8 では、作業状態の復元機能として「ワークスペースファイル」、KeySQLの自動化機能として「スクリプト」機能をサポートします。

KeySQL 7 以前のバージョンで作成されたマクロは「KeySQL マクロ読み込み機能」により、KeySQL 8 の画面に復元する機能をサポートします。

KeySQL 7 以前のバージョンで作成されるマクロには以下の種類があります。

- KeySQL マクロ (MAC マクロファイル)
「エグゼキュートモード」を指定せずに作成されたマクロファイル、またはKeySQL 7で「名前を付けて保存」「上書き保存」で作成されたファイルです。
- DDE マクロ
KeySQL R6.2以前のバージョンで、「エグゼキュートモード」を指定し、「ダイレクトコール」を指定しないで作成された VBA です。
- VBA マクロ (ダイレクトコールマクロ)
 - KeySQL R6.2以前のバージョン：「エグゼキュートモード」および、「ダイレクトコール」を指定して作成された VBA です。
 - KeySQL 7：「マクロの種類」を「Excel VBA」に指定して作成した VBA です。
- OooBasic マクロ
KeySQL 7で作成されたOpenOffice.org Basicです。

KeySQL マクロは、KeySQL 8 のツールバーにある「旧マクロを開く」ボタンからそのまま読み込むことができます。

それ以外のマクロは、KeySQL マクロに変換してから読み込む必要があります。手順については「アプリケーションマクロから KeySQL マクロへの変換手順について」をご覧ください。

「KeySQL マクロ読み込み機能の制限について」も併せてご覧ください。

その他、以下の機能が廃止されています。

- DB2/Informix への専用接続 (汎用 ODBC をご利用ください)
- KeySQL Administrator に関する機能
- ローカル別名
- 表結合候補
- 日付書式・範囲設定
- 自動 GROUP BY 設定
- Oracleでのフラッシュバックテーブル機能

その他注意点

- Calc Basic からの Excel への貼り付けについて
KeySQL 8では貼り付け先を Excel に指定した Calc Basic スクリプトを出力することができますが、OpenOffice.org Basicにて、Excel の一部機能呼び出すことができない現象が確認されています。
この現象は OpenOffice.org 側の不具合である可能性が高いため、この設定により出力されたスクリプトは動作保証いたしかねます。
- 64bit 環境で 32bit アプリケーションからのスクリプト実行について
64bit のOSにSetup64.msiを使ってKeySQLをインストールした場合、32bit のCalcや Excel からスクリプトを実行することはできません。
32bit アプリケーションからのスクリプト実行を可能にするためには Setup32.msiを使用してKeySQLをインストールしてください。